

第 93 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 2022 年 3 月 22 日 (火) 15 : 30 ~ 16 : 58
- 場 所 : オンライン開催
- 出席者 :
 - 〔学外委員〕
石田委員、奥委員、嶋津委員、名取委員、長谷川委員、林(康)委員、板東委員、
藪中委員
 - 〔学内委員〕
田中学長、小島理事、黒澤理事・副学長、道下理事・副学長、木島副学長、高
田副学長、細江副学長、岡本大学運営局長
 - 〔オブザーバー〕 田代監事、林(礼)監事
- 欠席者 :
 - 〔学外委員〕 林(文)委員
 - 〔学内委員〕 なし

※協議事項の一部は、学長選考会議との合同開催。

I. 協議事項

1. 2021 年度を振り返って (学長ヒアリング)
2. 2021 年度修了者及びこれまでの修了生の状況について

田中学長から、2021 年度の実績報告及び 2021 年度春季修了予定者及びこれまでの修了生の状況について説明があった。その後、委員との間で質疑応答・意見交換が行われた。

- ◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○ : 学外委員、△ : 本学)
- : 入学者数や出身国数、英語科目履修状況、科研費の採択状況を評価する。データサイエンスの概算要求の状況はどうか。
- △ : 概算要求は採択されなかったが、授業料値上げによる収入増と、既存予算を合わせて、データサイエンスセンターの予算としたい。
- : 同窓会活動は、大学のサポートのおかげもあり、順調に進んでいる。
- : コロナ禍でこの水準の学生数を維持していることを評価する。
- : コロナ禍で、ICT の事業を拡充し、基盤整備が進めたことを評価する。また、学長就任以来、SDGs を粘り強く進めてきており、それが学内に定着、発展していく筋道をつけたことも高く評価したい。
- : ウクライナ問題について意見表明はしないのか。
- △ : 現在のところ、意見表明はしていない。本学には国際問題その他専門家が在籍しているため、この問題に対する分析、評価をすることで貢献したい。今後、研究教育評議会や経営協議会で大学として声明を出すべきであると意見があれば、検討していく。
- : メッセージを出すことが適切だと思う。

II. 審議事項

1. 2022 年度事業計画 (案) 等について
大学運営局長から、2022 年度事業計画 (案) 等について説明があり、これを了承した。
2. 2022 年度運営費交付金内示の概要および学内予算 (案) について

大学運営局長から、2022 年度運営費交付金内示の概要および学内予算（案）について説明があり、これを了承した。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。（○：学外委員、△：本学）

○：コロナ終息後、オンライン事業等をどうしていくのか。

△：オンラインによるメリットが高い活動については、今後も引き続きオンラインを活用していきたい。例えば、個人の論文指導などは、オンラインだと効率よく実施でき、学生にとってもメリットが高いと考える。また、セミナーや講演会も、引き続きもオンラインを積極的に取り入れていきたい。

○：オンライン教育を実施する教員側の評価と、受講する学生の評価を把握しておくことが必要である。

△：これまでの学生アンケートを見直して制度化し、定期的にアンケートを実施して PDCA サイクルを回していきたいと考えている。同時に、教員に対してもオンラインをどう活用していくかアンケートを実施しており、今後改善していきたい。

3. 学内規則の新規制定及び改廃について

大学運営局長から、学内規則の新規制定及び改廃について説明があり、これを了承した。

4. その他

特になし。

II. 報告事項

1. 2021 年度財務報告書について

大学運営局長から、2021 年度財務報告書について報告があった。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。（○：学外委員）

○：本報告書の名称について、財務報告書ではなく、統合報告書にするなど検討の余地がある。

2. その他

特になし

以上